

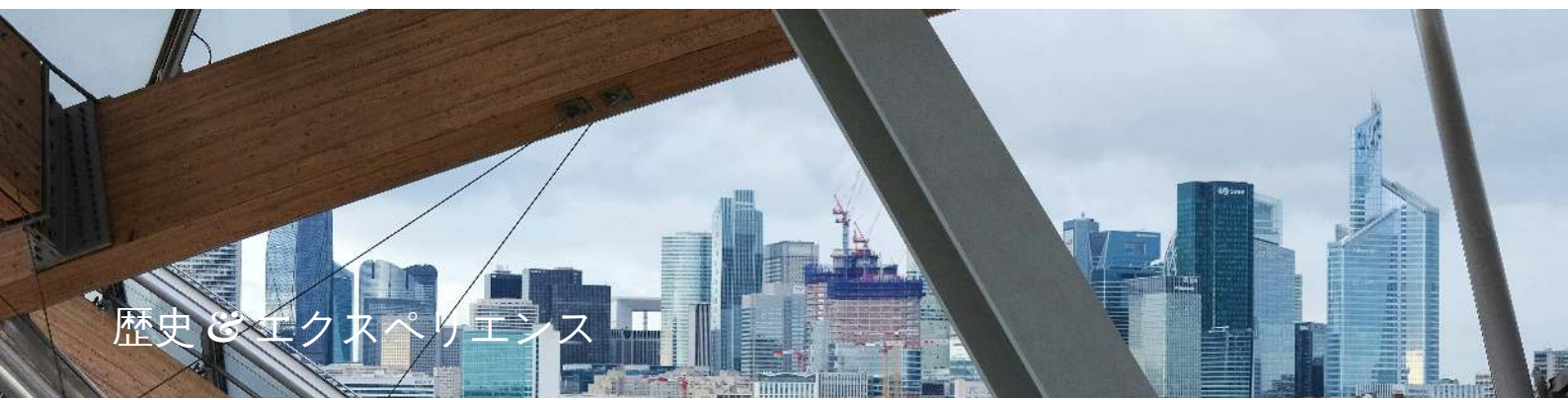


訪問ガイド 2026

ルイ・ヴィトン財団

パリ・から 24€

<https://fondationlouisvuitton.visit-tickets.com/ja/> ・ 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

競争から生まれた文化の殿堂

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 24 987 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 15 276 レビュー

ルイ・ヴィトン財団の物語は、**2005年**に始まりました。ベルナール・アルノー率いるLVMHグループが、ヴェネツィアにピノー財団を設立したフランソワ・ピノーとの文化的競争の中で、パリに独自の文化拠点を作る決意をしたのです。このプロジェクトは単なる美術館建設ではなく、フランスのラグジュアリー産業が現代アートに果たす役割を再定義する野心的な試みでした。フランク・ゲーリーという建築巨匠を選んだことは、その野心を象徴していました。

設計プロセスは革新的でした。ゲーリーはパリの歴史的なガラス構造、特にグラン・パレやアクリマタシオン庭園の1893年のパビリオンからインスピレーションを受けました。しかし、彼は伝統的な形式を破り、解構主義の言語で現代的な解釈を提供しました。建物は「冰山」のような有機的な形状を持ち、風によって膨らんだ帆船のように見えます。この比喩は、ブローニュの森内の人工湖という場所の文脈と深く結びついています。

建設自体は技術的な奇跡でした。**19,000枚**のダクトイルコンクリートパネルはすべて異なり、地震のようなパターンで配置されています。これにより、建物の外観は流動的で生き生きとしたものになりました。各帆は鋼鉄と木材の複雑な梁システムによって支えられており、エンジニアリングと芸術の完璧な融合を示しています。2008年から2014年までの建設期間は、現代建築の限界を押し広げる挑戦でした。

2014年10月20日、フランソワ・オランド大統領の臨席のもと、財団が開館しました。このイベントは、10年にわたる計画と建設の完了をマークし、パリの国際的な文化景観における新しい中心地の誕生を示しました。LVMHグループは55年間の賃貸契約を取得し、その後建物はパリ市に戻ります。この合意は、文化的公共財として将来の世代に残ることを保証すると同時に、民間セクターによる大規模な文化投資のモデルとなりました。

体験

入口を通過すると、訪れる者はすぐに光の魔法の中に包まれます。12枚の半透明なガラスの帆が、自然光を濾過して柔らかい輝きに変換します。朝の日差しが帆に当たると、建物はまるで生きているかのように呼吸するように見えます。各帆の3,600枚のドットシルクスクリンパネルは、光エネルギーの50%を反射し、絶えず変化する視覚的効果を生み出します。これは単なる建築ではなく、光と影の演奏会です。

内部空間は広々としており、有機的な曲線が廊下や展示室を形成しています。直線的な角はなく、すべての表面が流体的な動きを持っています。中央の池からの水の音と、テラスからの緑豊かな景色が、芸術鑑賞体験に感覚的な深みを加えます。訪れる者は、フランク・ゲーリーのビジョンがどのように空間と時間を再定義しているかを肌で感じることができます。



訪問の準備

実用的な情報

住所

第16区・メトロ：Porte Maillot（1号線、RER C）またはトラムT3b。エトワールからのシャトルバス運行あり。

営業時間

火曜日のみ休業。季節や学校休暇により営業時間が変動します。訪問前に必ずご確認ください。

料金

18歳未満は無料。学生および若者（26歳未満）向け割引料金あり。{promo}。

所要時間

臨時展示をゆっくり鑑賞し、Frank Gehryが設計した内装建築を堪能するには2〜3時間を見込んでください。

写真撮影

La 展示では、フラッシュや三脚なしの写真撮影が一般的に許可されています。制限事項については、アーティストごとに個別にご確認ください。

対象層

全年齢層に対応。Les ガイドツアーは、建築愛好家やグループに特に好評です。PMR（身体障害者）にもアクセス可能。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄 / RER

: ジャルダン・ダクレマタシオン – 9 min à pied

サン＝ラザール駅 (17 min)・モンパルナス駅 (20 min)



バス

: ルイ・ヴィトン財団 – 1 min à pied

サン＝ラザール駅 (26 min)・モンパルナス駅 (31 min)



自動車

サン＝ラザール駅 (18 min)・モンパルナス駅 (22 min)



ヴェリブ / 自転車

サン＝ラザール駅 (23 min)・モンパルナス駅 (28 min)

LOCALISATION

Où se trouve ルイ・ヴィトン財団？



📍 8 Avenue du Mahatma Gandhi — 75116 パリ

🌐 48°52.588' N, 2°15.804' E

組織

多層的な空間の探索

レベル0 (1階)

入口ホールから始まり、中央の池を囲む回廊があります。ここには常設展示の一部や、建築の詳細を観察できるスペースがあります。受付ではオーディオガイドのレンタルや情報提供が行われ、ロッカーサービスも利用可能です。床のデザインは建物の有機的な形状を反映しており、訪問者の最初の印象を形作ります。

レベル2 (2階)

主要な展示室がこのレベルに集中しています。大きな窓からはブローニュの森の景色が見え、自然光が作品を照らします。複数のギャラリーが曲線的な廊下でつながっており、展覧会の流れに沿って移動できます。ここでは現代美術の主要アーティストの大規模なインスタレーションを鑑賞でき、建築的空間と作品の対話を体験できます。

レベル5 (屋上テラス)

建物の最上部にあるテラスは、パリのスカイラインを一望できる最高のスポットです。12枚の帆の構造を間近で見ることができ、夕暮れ時の光の変化を楽しむことができます。テラスからはエッフェル塔やシャンゼリゼ通りなどのランドマークも見え、建築写真の撮影に最適な場所です。休憩スペースもあり、訪問の締めくくりとして最適です。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

エレベーターと専用スロープを備えた車椅子完全アクセス可能。



ファミリー向け

広々とした対応スペースがあり、ベビーカー用のロッカーも利用可能です。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

見逃せない建築と芸術の傑作

01

外観

12枚のガラスの帆

建物の最も特徴的な要素である12枚の帆は、鋼鉄と木材の梁によって支えられています。各帆は異なる形状と曲率を持ち、風によって膨らんだ帆船を連想させます。これらの構造は、メタファー的に博物館を水辺の環境に根付かせています。

💡 フランク・ゲーリーはヨット競技の愛好家であり、この設計は彼自身の情熱から直接インスピレーションを得ています。

02

外壁

19,000枚のコンクリートパネル

建物の外壁を覆う19,000枚のダクタイルコンクリートパネルはすべて異なり、ずらして配置されています。この複雑なパターンは「地震」のモチーフと呼ばれ、有機的な独特な効果を生み出します。溶ける氷山のような流動的な外観を実現しています。

💡 各パネルは個別に設計されており、量産品ではなく芸術作品として扱われています。

03

帆

ドットシルクスクリーンガラス

各帆を構成する3,600枚のガラスパネルには、ドットシルクスクリーン技術が施されています。この技術により、光エネルギーの50%が反射され、自然光を管理しながら独自の視覚効果を生み出します。天気によって変化する光の演出は、建物を動的なキャンバスに変えます。

💡 このガラス技術はエネルギー効率を最適化するために開発され、持続可能性にも貢献しています。

04

中庭

中央の池

建物の中心にある池は、建築的な対称性を強調する重要な要素です。水面の反射を利用して、建物の形状を捉えることができます。また、水の音は静寂を保ちながら、空間に感覚的な深みを加えます。

💡 池の水は循環システムによって維持されており、環境負荷を最小限に抑えています。

05

屋上

屋上テラスからの眺望

屋上テラスからはパリのスカイラインを一望できます。エッフェル塔やシャンゼリゼ通りなどのランドマークが見え、建築写真の撮影に最適な場所です。夕暮れ時の光の変化は、建物の美しさを際立たせます。

💡 テラスの設計は風の抵抗を考慮しており、安全かつ快適な展望を提供しています。

06

展示室

解構主義の内部空間

内部空間は直線的な角を持たず、すべての表面が流体的な動きを持っています。廊下や展示室は有機的な曲線で形成されており、訪れる者が建築的空間を体感できるように設計されています。

💡 フランク・ゲーリーはカタルーニャの建築家アントニ・ガウディからインスピレーションを受けたと言われています。

07

設計コンセプト

グラン・パレの影響

建築デザインは、**1893年**に建てられた歴史的なアククリマタシオン庭園およびグラン・パレのガラス構造から直接インスピレーションを得ています。フランク・ゲーリーは、現代の建築技術の限界を押し広げながら、パリの実業遺産への敬意を表しました。

💡 この影響はガラスの使用法に明確に見られ、歴史的な文脈と現代的な革新が融合しています。

08

歴史

開館式典

2014年10月20日の開館式典は、共和国大統領フランソワ・オランドの臨席のもと行われました。このイベントは10年にわたる工事の完了をマークし、財団がフランス首都の国際的な文化景観における中心的な地位を確立したことを示しました。

💡 式典には世界中のメディアが集まり、建築と文化の話題として大きく報じられました。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

開館と同時に到着し、朝の光がガラスの帆に当たる様子を撮影しましょう。最初の日光は12枚の帆を光のプリズムに変え、混雑前の理想的な条件を提供します。

PARCOURS

まず外観と中央の池から始め、次に展示室を巡り、最後に屋上テラスで眺望を楽しむ順序がおすすめです。このようにすることで、建築の全体像を理解してから詳細を観察できます。

PAUSE

建物内のカフェで池と建物を望む景色を楽しみましょう。繁忙期の昼食については予約をお勧めします。訪問後のブローニュの森での散策もおすすめです。

AUDIOGUIDE

多言語対応のオーディオガイド（フランス語、英語、スペイン語）を利用し、作品や建築に関する詳細な解説で見学を豊かにしましょう。入口でレンタルするか、公式アプリをダウンロードしてください。

BILLET

オンラインでの予約を強く推奨します。特に週末や学校休暇中は重要です。プレミアムチケットを選択すれば、往復シャトルが含まれ、優先入場で待ち行列を回避できます。

PHOTO

中央池からの反射を利用して建物の対称性を捉えましょう。また、屋上テラスからの夕暮れ時の写真は、建物の美しさを最大限に引き出します。フラッシュなしの写真撮影が許可されています。

ENFANTS

子供たちは船のような形状を気に入るでしょう。屋内空間は広々としており、ベビーカー用のロッカーも利用可能です。アククリマタシオン庭園との組み合わせも家族向けに最適です。

CONFORT

歩きやすい靴を履きましょう。建物はエレベーターとスロープを備えており、車椅子利用者にも完全アクセス可能です。大きなバッグや傘はロッカーに預けて、展示室を自由に移動できます。

よくある質問

よくある質問

チケットの事前予約は必須ですか？

オンラインでの予約を強く推奨します。特に週末や学校休暇中は重要です。これにより、入場を保証し、窓口での待ち時間を回避できます。人気のある時間帯では、席数が限定される場合があります。

学生や若者向けの料金はありますか？

26歳未満および学生（有効な身分証明書の提示が必要）向けに割引料金が用意されています。18歳未満は無料入場となる場合がほとんどです。予約時に正確な条件をご確認ください。

プレミアムチケットのオプションはありますか？

はい、プレミアムチケットには通常、シャルル・ド・ゴール＝エトワールからの往復シャトルが含まれます。このオプションはパリ中心部から来る訪問者のためのロジスティクスを簡素化し、博物館への優先アクセスを保証します。

フォンドションを見学するにはどのくらい時間がかかりますか？

展覧会与建築を十分に楽しむには約2〜3時間お見積もりください。テラスを探索したり休憩を取ったりしたい場合は、半日程度を確保することをお勧めします。ペースは自由で個別に調整可能です。

ガイド付きツアーは利用できますか？

フランク・ゲリーの建築に特化したガイド付きツアーが提供されています。これにより、建物の技術的・芸術的な課題を理解することができます。また、充実した自主見学のために多言語対応のオーディオガイドも利用可能です。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

ピノー対アルノーの競争

2005年に始まったこのプロジェクトは、ヴェネツィアのピノー財団に対するメディア的な対応と見なされることがよくあります。フランスの2つのラグジュアリー巨人間のこの競争は、主要な文化拠点の創設を加速させ、訪問者にユニークな建築空間での例外的な芸術体験を提供しました。

55年間の賃貸契約

LVMHグループは55年間このサイトを占有し、その後建物はパリ市に戻ります。この画期的な合意により、ベルナール・アルノーはこの野心的なプロジェクトを資金調達できると同時に、将来のパリ世代にとって文化的公共財として残ることを保証しています。

エネルギー効率の革新

各帆のガラスパネルは光エネルギーの50%を反射し、自然光を管理しながら独自の視覚効果を生み出します。この精密なエンジニアリングは、建築的美学と持続可能性の両方を達成しています。

地震のモチーフ

19,000枚のダクタイルコンクリートパネルはすべて異なり、有機的な独特な効果を生み出すためにずらして配置されています。この複雑な設計は自然の動きを模倣することを目的としており、フランク・ゲリーの建築の世界的名声を作り出しました。

博物館周辺

財団はブローニュの森の静かな環境に位置しており、訪問前後の散策に理想的です。隣接するアククリマタシオン庭園では、家族向けのエンターテインメントや歴史的な遊園地を楽しむことができます。さらに近くにはギメ東洋美術館があり、アジア美術のコレクションで現代アートとは異なる文化的視点を提供します。建物内のカフェでは、池と建物を望む景色を楽しみながらフランス料理を味わうことができます。エトワールからのシャトルバスを利用すれば、渋滞を回避して快適にアクセスできます。

ルイ・ヴィトン財団への訪問は、単なる美術館見学ではありません。それは建築と芸術の対話を体験する旅です。光が帆を通り抜ける瞬間、水面に映る建物の姿、そして展示されている作品との出会い――すべてが記憶に残る感動を生み出します。パリを訪れるなら、このユニークな空間での時間をお見逃しなく。